

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.242



発行日 2023年2月3日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 柏原 昭博
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358番地5
アカデミーセンター
URL <https://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org



第48回 JSiSE 全国大会のご案内・・・2	研究会報告年間購読案内・・・17
全国大会企画セッション テーマ募集・・・3	支部活動報告・・・18
第6回研究会開催案内・・・6	北信越支部, 関東支部, 関西支部
特集論文研究会開催案内・・・8	広報からのお知らせ・・・23
学生研究発表会発表募集・・・10	国際会議のご案内・・・24
博士論文紹介募集・・・12	会費納入のお願い・・・25
特集号論文募集・・・13	事務局より・・・27
合同英文誌 ITEL 論文募集・・・15	会員専用ページの案内, 入会のご案内,
2022年度研究会開催スケジュール・・・16	新入会員のご紹介





第 48 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

2023 年度全国大会の開催日・開催場所が決まりました。

テーマ： XR がもたらす学びの場と新しい学習・教育の可能性
開催日： 2023 年 8 月 29 日（火）～ 8 月 31 日（木）
開催場所： 近畿大学（東大阪キャンパス）
<https://www.kindai.ac.jp/>

是非ご発表・ご参加をご検討ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<https://www.kindai.ac.jp/access/>

<最寄り駅まで>

- JR 新大阪駅～近鉄大阪線・長瀬駅まで約 45 分
- JR 新大阪駅～近鉄奈良線・八戸ノ里駅まで約 40 分
- JR 新大阪駅～JR 俊徳道駅まで約 30 分

<最寄り駅から近畿大学まで>

- 近鉄大阪線・長瀬駅から徒歩約 10 分
- 近鉄奈良線・八戸ノ里駅から徒歩約 20 分、バス約 6 分（直行バス、近鉄路線バス）
- JR 俊徳道駅からバス約 15 分（直行バス）



第 48 回（2023 年度）教育システム情報学会全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内

教育システム情報学会 全国大会委員会
委員長 小尻 智子

企画セッションは参加者にとって関心が高く、より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです。以下のようにテーマを公募いたします。奮ってご応募ください。テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき、発表募集の広報やプログラム作成、セッションの実施を行っていただきます。なお、お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし、採否を決定させていただきますので、ご了承ください。

企画セッションの講演原稿のフォーマット、投稿方法、1セッションあたりの発表数、講演時間等は一般セッションと同じです。ただし、オーガナイザの裁量で1スロットにつき講演1件分を議論の時間にあてることができます。セッションの時間帯やスロット数は、大会プログラム作成時に全国大会委員会大会プログラム部会にて講演申込み数や全国大会全体の構成に応じて決定いたします。講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより、一般から公募いたします。また、企画セッションでの発表も大会奨励賞の対象となります。

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望めます。テーマご提案の際には、一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください。

■オーガナイザにご担当いただく事項

- 発表募集の広報（企画セッションの概要は全国大会 Web ページに掲載されます）
- 企画セッションのプログラム（発表順）の決定

発表申し込み数によっては、一部の発表を一般セッションに移動する必要があります。

その際、オーガナイザには一般セッションに移動する発表を決定していただきます。

- 座長の選定

原則としてオーガナイザが座長をご担当ください。セッションが複数になった場合は、各セッションの座長を異なるオーガナイザで担当していただきます。

- 当日のセッション運営

■お申し込み方法

以下の項目をご記入の上、全国大会委員会プログラム部会（taikai-pc-ml@jsise.org）宛まで電子メールにてお申し込みください。

※送信後に投稿が保留された旨のメールが自動的に届きます。それとは別に後日受付の連絡をさせていただきますので、お待ちください。

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ、分野（カテゴリ表より選択、多くて2～3個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）

- テーマ独自のキーワード
 - オーガナイザ全員の氏名と所属，代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）
- ※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります。

■ 申込期限

2023年2月17日（金）（2023年2月24日（金）までに採録結果を通知いたします）

議論観点	カテゴリ	分野名 (発表時にはここだけ選択してもらいます プログラム編成においてセッション名として使います)	キーワード (分野選択時の参考にしてください。 ただし、各分野の発表はこれらに限るものではありません)
支援対象	設計	授業設計・インストラクショナルデザイン	授業研究, 学習理論, 教育方法, カリキュラム・デザイン, 授業評価, 授業実践, シラバス, 研修設計
		学習環境デザイン	デザイン研究, 学習科学
	教育・学習手法	遠隔教育	通信教育, 国際交流, 交流学習, 異文化交流
		フレンドィッド学習	反転授業, eラーニング授業利用
		連携型教育	小中連携, 中高連携, 高大連携, 大学間連携, 科目間連携, 地域連携, 産学連携
		協調学習	コミュニティ支援, コミュニケーション支援, グループ学習, ディスカッション支援
		アクティブラーニング	作問学習, PBL, クリッカー, アイデアソン, ハッカソン, ルーブリック, サービスラーニング, テキストコミュニケーション, 社会人基礎力, 反転授業, 体験学習
	分析・評価	学習者特性・行動分析	ポートフォリオ, アフェクティブラーニング, 質的分析, 学習履歴分析, レディネス, 生体情報, レスポンス分析, 教学インスティテュショナル・リサーチ(IR), 質問行動
		学習評価・アセスメント	リフレクション, ルーブリック, テスト理論, 質的評価, 適応型テスト, 数理モデル, ピアアセスメント, グループワーク評価, パフォーマンス評価, 項目反応理論, 所見による評価
	対象別教育	HRD・生涯学習	リカレント教育, 社会人教育, 企業内教育/研修, 異文化理解
		高等教育	キャリア教育, 質保証, リメディアル, 初年次教育, ファカルティ・ディベロプメント(FD), 研究活動支援, ティーチングポートフォリオ, チュータートレーニング, 教養教育, 教職課程
		初等中等教育	言語活動, 教科指導, 授業実践, 教師教育, 情報モラル, 一人一台タブレット環境
	領域別教育	プログラミング教育	アルゴリズム理解, ビジュアルプログラミング, プログラミング言語教育, オブジェクト指向教育, ロボットプログラミング, WebAPI
		情報技術教育	ネットワーク教育, データベース教育, 組み込みシステム教育, モデリング教育, システム要件定義, 技術者倫理教育, ソフトウェア開発教育, IoT
		語学教育	日本語学習, 外国語学習, 聴解学習, 発語学習, 作文教育, 読解教育, 語彙・単語学習, 文法教育, エッセイライティング, 例文検索
		教科教育	教科情報, 数学, 国語, 理科, 社会, 音楽, 美術, 技術・家庭科
		特別支援教育	インクルーシブ教育, LD, ADHD, 発達障害, 院内学級, 身体障害, 知的障害, 視覚障害, 言語障害
		スキル学習	身体知, 経験知, 学習スキル, メタ認知, 問題解決支援, 批判的思考, 自己調整学習
		医療・看護・福祉教育	カウンセリング, ボランティア, 介護, 理学療法, 保育, 作業療法, スポーツ医学
		情報リテラシー	プレゼンテーション支援, コンピュータ操作, 情報倫理, セキュリティ, 情報モラル, 情報スキル, クラウドサービス活用
防災教育		レジリエンス, リスクマネジメント, 災害情報, 意思決定, 災害心理, 疑似体験, 避難訓練, 災害アーカイブ	
技術		ICT活用	マルチメディア活用
	ソーシャルメディア活用		ソーシャルブックマーク, SNS, BLOG, マイクロBLOG, チャット
	デバイス活用		モバイル, タブレット, ユビキタス, ウェアラブル, ヒューマノイドロボット, IoT
	プラットフォーム活用		LMS, eポートフォリオ, CMS, テレビ会議システム, コンテンツ共有
	技術開発・運用	プラットフォーム開発	LMS, CMS, プラグイン, CSCL, eポートフォリオ, eテストング, API, データフォーマット, デバイス, テレビ会議システム, クラウド利用
		インフラストラクチャ	認証, ネットワーク構築, センサネットワーク, クラウド, セキュリティ, システム連携, 仮想化, データ運用管理, 教材データベース, BYOD
		コンテンツ作成支援	コンテンツ・オーサリング, カリキュラム・オーサリング, コンテンツ自動生成, SCORM, LOM, 問題作成支援
		先進的学習支援技術	AI(人工知能), アフェクティブコンピューティング, エージェント, 機械学習, 情報検索, 適応的支援, ナビゲーション支援, リフレクション支援, 情報推薦, ゲーミフィケーション, 外在化支援, 抽象化支援, 知識マップ
	先進的学習支援技術	分析技術	テスト理論, データマイニング, ラーニングアナリティクス, ビッグデータ
		モデリング技術	メタ認知, 学習科学, 学習者モデル, 認知ツール, 数理モデル, ドメインモデリング
		ユーザインタフェース	仮想現実(VR), 拡張現実(AR), HCI, 視線入力, ヘッドマウントディスプレイ(HMD), ジェスチャー入力, 3D, 可視化, センサーデバイス, 音声入力, シミュレーション, マイクロワールド, 擬人化技術, アウェアネス, テレイグジスタンス, 力覚情報, ヒューマノイドロボット
	その他	その他	その他



2022 年度 第 6 回研究会 開催案内

担当者： 浅羽修丈（北九州市立大学），尾崎拓郎（大阪教育大学），
鷹岡亮（山口大学），永田奈央美（静岡産業大学），
西端律子（畿央大学），長谷川理（武蔵野大学），
山本樹（明海大学）

■ テーマ：

学校段階間での接続を意識したデータサイエンス教育／一般

■ 開催日時：

2023 年 3 月 18 日（土）

■ 会場：

北九州市立大学 北方キャンパス（対面及びオンラインのハイブリッド開催）

*なお、COVID-19 の感染状況により、オンライン開催のみとなる可能性もあります。オンライン開催のみとする場合、2 月 28 日（火）までに jnews, SNS などにより告知いたします。

*会場へお越しの方は、公共交通機関をご利用ください。車での来場はご遠慮ください。

■ 趣旨：

数理・データサイエンス・AI はデジタル社会の基本的な素養として、文理を問わず全ての学生にとって、あらゆる分野で活躍するために必要となる知識・技術であり、AI・ビッグデータ・IoT 等の急速な技術革新とともに、社会のあらゆる場面でデジタル・トランスフォーメーションが進む中、その必要性は益々高まっています。

また、今年度より高等学校の学習指導要領も新しくなり、高等学校情報科においては共通必修科目「情報Ⅰ」が新設され、全ての生徒がプログラミングやネットワーク、データベースの基礎等について学習することとなりました。さらに、選択科目「情報Ⅱ」では、プログラミング等について発展的に学習することとなります。既に新学習指導要領となった中学校においては「技術・家庭科（情報に関する技術）」を中心に、小学校においては各教科でのプログラミング教育（プログラミング的思考の育成）が実施されるなど、初等・中等教育においても情報活用能力の育成が重視されています。

そこで第 6 回研究会では、上記についての研究や議論を深めるため、「データサイエンス教育の実践と校種を越えた情報活用能力育成」に関連する取り組みに注目します。

■ 発表申込締切：

すでに締め切りました。多数のお申し込みをいただきありがとうございました。

■ 原稿提出締切：

2023 年 2 月 10 日（木）【延長いたしません】

*発表方法に応じてプログラム編成を行いますので、各種締め切りの延長は行われません。締め切り日を必ずご確認ください。

原稿の執筆・投稿にあたっては、以下のページをご確認ください。

- ・執筆要領：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/format.pdf>
- ・研究報告見本：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.pdf>
- ・研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.docx>

■ 発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）を予定しております。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000 円/年）または各回の研究報告の購入（1,000 円/回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。ハイブリッド開催を予定しております。オンラインでの発表とその聴講に利用される Zoom のアクセス先は、申込受付メールとして送信するメールに記載いたします。なお、対面発表については現地（対面）でのみ聴講可能となりますのでお気をつけください。

○ 発表者

発表申込および原稿提出は、下記「申込者ログイン」よりお願いします。また、事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 2 月 11 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

○ 聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○ 上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 2 月 11 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

申込者ログイン：<https://iap-jp.org/jsise/course3/login.php>

■ お問い合わせ先：

北九州市立大学 浅羽修丈（第 6 回研究会担当委員）

E-mail：jsise-sig-6th_at_googlegroups.com（「_at_」は、半角の「@」に変更してください）



2022 年度 特集論文研究会 開催案内

担当者：学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪公立大）

■ テーマ：

「答えのない課題の解決に挑む学び」を支える教育システム・デザイン

■ 開催日時：

2023 年 3 月 18 日（土）

■ 会場：

北九州市立大学 北方キャンパス（対面及びオンラインのハイブリッド開催）

*なお、COVID-19 の感染状況により、オンライン開催のみとなる可能性もあります。開催形式の変更がある場合、jnews, SNS などにより告知いたします。

*会場へお越しの方は、公共交通機関をご利用ください。車での来場はご遠慮ください。

■ 趣旨：

現代は、先行きが見通せない予測困難な時代、また持続可能な未来のために劇的な社会変革が求められる時代でもあります。従来からの価値のみに縛られず、新たな課題の発見・解決を通じた「価値創造」に対応できる人材の重要性が増してきています。それとともに、価値観が多様化し、複雑さを増す現代という時代において、一人ひとりが自身および他者の良さや可能性を認めつつ、協働的に社会の課題へ取り組む必要性も謳われています。このような時代・社会からの要請に対して、「答えのない課題解決に挑む」人材をどのように育成していくのか、は我々にとって喫緊の課題の一つと言えます。そこで、答えのない課題解決に挑む学びを促進し、支援するため教育システム・デザインの提案・実践また、それらの取り組みを加速するための教育 DX に寄与する先行的な取り組みに注目します。

■ 発表申込締切：

すでに締め切りました。多数のお申し込みをいただきありがとうございました。

■ 原稿提出締切：

2023 年 2 月 10 日（木）【延長いたしません】

*発表方法に応じてプログラム編成を行いますので、各種締め切りの延長は行われません。締め切り日を必ずご確認ください。

原稿の執筆・投稿にあたっては、以下のページをご確認ください。

・執筆要領：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/format.pdf>

- ・ 研究報告見本: <https://www.jsise.org/society/committee/pdf/sample.pdf>
- ・ 研究報告ひな形: <https://www.jsise.org/society/committee/doc/sample.docx>
- ・ オンライン原稿投稿: <https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ 発表申込および研究会への参加方法 :

研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000 円／年）または各回の研究報告の購入（1,000 円／回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。ハイブリッド開催を予定しております。オンラインでの発表とその聴講に利用される Zoom のアクセス先は、申込受付メールとして送信するメールに記載いたします（なお、対面発表については現地（対面）でのみ聴講可能となりますのでお気をつけください）。

○発表者

発表申込および原稿提出は、下記「申込者ログイン」よりお願いします。また、事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 2 月 11 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

○聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、末尾の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 2 月 11 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

申込者ログイン: <https://iap-jp.org/jsise/course4/login.php>

■ 映像収録について :

有意義な閲読コメントを著者へお渡しできるようにするため、閲読を希望された口頭発表および質疑応答の様子のみ映像収録させていただきます。この映像は、利用範囲として、閲読コメント作成目的に限定し、閲読者（1 発表につき 2 名）にのみ共有させていただきます。閲読者へは、研究会原稿と共に収録映像をご確認いただき、より有意義な内容となるようコメントの作成をお願いいたします。映像の収録および閲読者との共有に関して、あらかじめご承諾いただけますようよろしくお願いいたします。

■ お問い合わせ先 :

千葉工業大学 山崎治（学会誌編集委員）

E-mail: yamazaki[at mark]net.it-chiba.ac.jp （[at mark]は、半角の「@」に変更してください）



2022 年度学生研究発表会開催案内（最終報）

担当者： 人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を下記の通り開催します。

開催地区	開催日・開催形式および地区担当者・実行委員長・連絡先等
北海道	2023年3月7日（火） 開催形式：ハイブリッド（公立千歳科学技術大学及び Zoom） ポスター発表無し 山本 裕一（北海道大学）・ sierra@iic.hokudai.ac.jp
北信越	2023年3月7日（火） 開催形式：オンライン開催・ポスター発表なし 森 祥寛（金沢大学）・ hse-submit@jsise.org オンライン会場担当：中平勝子（長岡技術科学大学） 実行委員長：香山瑞恵（信州大学）
関東	2023年3月6日（月） 開催形式：ハイブリッド開催（明海大学＋オンライン） ポスター発表無し 辻 靖彦（放送大学）・ kanto-sub@jsise.org 実行委員長：山本 樹（明海大学）
東海	2023年2月20日（月） 開催形式：オンラインのみ（Zoom）・ポスター発表無し 村瀬孝宏（中京学院大学） ・ murase@chukyogakuin-u.ac.jp
関西	2023年3月6日（月） 開催形式：ハイブリッド開催（近畿大学東大阪キャンパス＋オンライン） 開催方法：口頭発表及びポスター発表 河野 稔（兵庫大学） ・ kawano@hyogo-dai.ac.jp
中国	2023年2月23日（木） 開催形式：ハイブリッド（広島工業大学五日市キャンパス新4号館418号室及び Zoom） 開催方法：口頭発表及びインタラクティブ発表 （インタラクティブ発表は現地のみ） 松本慎平（広島工業大学）・ s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp
四国	2023年3月13日（月） 開催形式：オンライン開催 開催方法：口頭発表（ライトニングトーク）の後、ポスター（インタラクティブ）発表

	米谷 雄介 (香川大学) ・ kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp 実行委員長：岡本 竜 (高知大学)
九州・沖縄	2023年3月7日 (火) 開催形式：開催形式：ハイブリッド形式 (状況により、オンラインのみの可能性あり) (九州・沖縄 合同開催) ・ポスター発表無し (場所) 九州地区 宮崎公立大学 交流センター (多目的ホール) 沖縄地区 沖縄国際大学 13号館 301 教室 九州地区担当：辻 利則 (宮崎公立大学) ・ tsuji@miyazaki-mu.ac.jp 沖縄地区担当：小渡 悟 (沖縄国際大学) ・ sodo@okiu.ac.jp

最新情報は、学会ウェブページにて更新していきます。ご不明な点は、発表希望地区の担当窓口にご確認ください。



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪公立大学）

学会誌のコミュニティプラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo.3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニューズレターなどを通じて、募集を行って参ります。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2023年7月1日発行予定となります学会誌 Vol. 40, No. 3 につきましては、【2023年4月21日（金）】を原稿締切の予定とし、募集を行ってまいります。また今回より、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートを新たに作成し、原稿および必要事項の提出に関しましても、Google フォームを用いて行うようにいたします。下記 URL よりご利用ください。

スケジュール

原稿締切： 2023年4月21日（金）（予定）
学会誌掲載： 学会誌Vol. 40, No. 3, 2023年7月1日発行（予定）

執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：

<https://drive.google.com/uc?export=download&id=1ZQLwCvdBb0RF7YCtxiBlk3rinkqe7Qsc>

原稿提出（Googleフォーム）：

<https://forms.gle/bjSbqUr8o4p646349>

問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 山崎 治（千葉工業大学）

E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2024 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪公立大学）

「答えのない課題の解決に挑む学び」を支える教育システム・デザイン

論文投稿締切：2023 年 6 月 1 日（木）（予定）

2024 年 4 月 1 日 発行（予定）

これからの社会に求められる「新たな価値の創造」に対応できる人材の育成を支える教育システム・デザインの提案・実践、また、それらの取り組みを加速する先駆的な教育 DX の取り組みに関する論文を募集します。

現代は、「先行きが見通せない予測困難な時代」「持続可能な未来のために劇的な社会変革が求められる時代」といわれています。価値観が多様化し、複雑さを増す社会における喫緊の課題として、新たな課題の発見・解決を通じた価値創造に対応できる人材の育成が挙げられています。従来からの価値のみに縛られず、「答えのない課題」に挑戦し、解決していく人々を支えるための教育システム情報学領域からのアプローチを、本特集を通じ、広く社会に発信していきます。

1. 論文種別

「課題解決プロセス（課題の定義や解決、評価）」「創造性・創造的問題解決」「研究開発（R&D）」「PBL」などに関連した取り組みの他、価値創造ができる人材育成のカギと考えられる「主体的な学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けた取り組みなどを広く募集します。またこれらを支える技術の在り方として ICT 活用・先進的学習支援技術・教育 DX の観点からの研究論文も歓迎いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。投稿に際しては「特集号」であることを明示していただきます。また、特集論文研

研究会（2023年3月18日（土）開催）で発表を行った方は、特集論文研究会での発表題目と発表番号も明示いただく予定としております。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2023年6月1日（木）【予定】
採録通知予定： 2023年12月初旬まで【予定】
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 41, No. 2, 2024年4月1日発行【予定】

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。詳細は、今後の最新の開催案内(<https://www.jsise.org/society/committee.html>)をご覧ください。

特集論文研究会： 2023年3月18日（土）
会 場： 北九州市立大学（対面及びオンラインのハイブリッド開催予定）
発表申込 締切： 2023年1月10日（火）※
原稿提出 締切： 2023年2月10日（金）※

（※ 今回の研究会は、対面とオンラインの両形式を行いながら第6回研究会と連携してプログラム編成を行う必要があるため締切厳守でお願いいたします）

5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田 和久(大阪公立大学)
副委員長： 村上 正行(大阪大学)
筆頭幹事： 後藤田 中(香川大学)
幹 事： 高木正則（電気通信大学），田中孝治（金沢工業大学），
山崎 治（千葉工業大学）
幹事補佐： 近藤 伸彦（東京都立大学），津森伸一（聖隷クリストファー大学），
山元 翔（近畿大学）
委 員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 山崎 治（千葉工業大学） E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp



Information and Technology in Education and Learning (ITEL) 論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）Vol.3 への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。
 - 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



2022 年度研究会開催スケジュール

担当者： 研究会委員会

2022 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (https://www.jsise.org/society_research/) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境 の変革／ヘルスケア分野 の DX 人材育成／一般	終了	オンライン開催	終了	
第 2 回	ICT を活用した学習支援と 教育の質保証／一般	終了	北星学園大学（北 海道札幌市）	終了	終了
第 3 回	対面・オンライン・ハイブ リッド授業支援／一般	終了	オンライン開催	終了	終了
第 4 回	スキル開発とその支援技 術／一般	終了	徳島大学（常三島 キャンパス） オンライン ハイブリッド開催	終了	終了
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習 環境／一般	終了	拓殖大学（文京キ ャンパス） オンライン ハイブリッド開催	終了	終了
第 6 回	学校段階間での接続を意 識したデータサイエンス 教育／一般	2023 年 3 月 18 日（土）	北九州市立大学 オンライン ハイブリッド開催	終了	2023 年 2 月 10 日（金）
特集	「答えのない課題の解決 に挑む学び」を支える教育 システム・デザイン	2023 年 3 月 18 日（土）	北九州市立大学 オンライン ハイブリッド開催	終了	2023 年 2 月 10 日（金）

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円(定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む)
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いいたします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望

会員番号 (お分かりであれば) :

お名前 :

所属 :

連絡先 e メールアドレス :

=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

北信越支部より活動報告

北信越支部主催ワークショップ「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

担当者： 教育システム情報学会 北信越支部

北信越支部では、広く教育工学、教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催しています。

内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論です。過去のワークショップでは参加者より、多くのコメントもいただきました。これらの様子は、北信越支部の Web サイトや Facebook にてご覧いただけます。

本年度は以下の内容にて開催を計画しています。なお、本ワークショップは、全国の学生会員もしくは会員の皆様が指導されている学生を対象としたワークショップとなっております。「成果発表を磨く」実践的な機会であり、研究に対する多くの有益なコメントをいただける機会です。併せて、学生研究発表会もありますので、学生の皆さんはこれらと合わせて是非ご参加ください。

○北信越支部ワークショップ【成果発表を磨く】

開催日時：2023年3月7日（火）10時開始（予定）

開催場所：オンライン開催。アクセス先等は参加申込者にご案内します。

話題提供・討論概要：

申込者には、1件あたり50分の時間が与えられます。

与えられた時間の中で話題提供と討論をしてください。

事前に予稿等の原稿提出は不要です。当日の資料配付等は可とします。

対象：博士後期課程学生もしくは博士前期課程で論文投稿を目指す者

JSiSE 学生会員または JSiSE 会員に指導を受ける者

申込方法・〆切：現在、開催日時を調整中です。決まり次第 Facebook などにご案内します。

申込み、お問い合わせ先：北信越支部研究会担当 hse-submit@jsise.org

※ 話題提供のタイトル、氏名、連絡先、指導教員の氏名をお知らせください。

北信越支部 Web サイト：<https://hse.jsise.org/>

北信越支部 Facebook：<https://www.facebook.com/jsisehse>

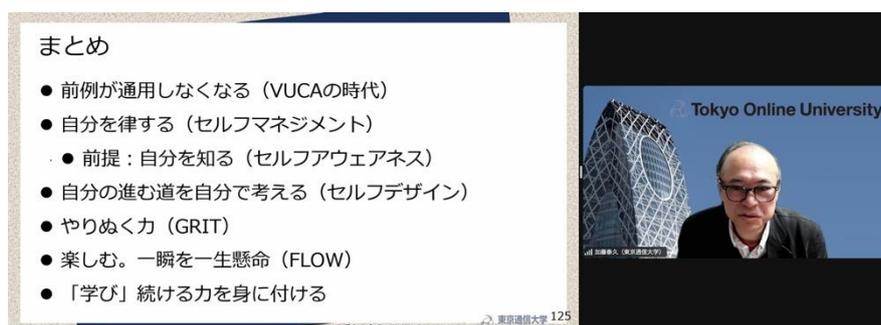
関東支部より活動報告

第4回リサーチ・コ・コ・コモンズ開催報告

担当者： 教育システム情報学会 関東支部

関東支部では、連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を、12月3日（土）に早稲田大学早稲田キャンパスとZoom上のハイブリッドで開催致しました。対面を含めた開催は3年ぶりとなります。第4回となる今回も前回に引き続き、学生を対象に「自身の研究の魅力を再発見すること」をテーマとして開催し、関東・東北地区から27名（学生16名・教員10名・企業人1名／対面19名・オンライン8名）の参加がありました。

冒頭に、関東支部長の明海大学・山本樹先生より趣旨説明があり、その後、二部構成で実施しました。第1部「ベテラン研究者からのメッセージ」では、企業での研究経験もある東京通信大学の加藤泰久先生から基調講演として、学生時代だけでなく、企業研究者時代の経験も背景に、不確実なこれからの時代に学び続ける力を身につけるために必要なことなど、熱いメッセージをいただきました。



第1部 基調講演（東京通信大学・加藤泰久先生）の様子

第2部では「魅力 Aware / Share / Deeper セッション」と題して、参加学生による2セッション合計14件の研究紹介が行われ、それぞれの研究の良い点、発表者本人も気付かないと思われる発展や応用の方向性について、積極的な議論がなされました。通常の研究会とは異なる「褒めて（研究を）伸ばす」、
「褒めて（自分自身が）伸びる」というコンセプトの下での議論に、参加者一同が苦戦しつつも、ポジティブな雰囲気の中セッションが進行しました。



第2部「魅力 Aware / Share / Deeper セッション」の様子

今回、ご講演・ご発表いただきました皆さま、及びご参加いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今後も関東支部では、学生の育成および教育実践の現場との連携を視野に入れた学術イベントの企画実施を進めていきたいと考えております。

◇第1部：ベテラン研究者からのメッセージ

- ・基調講演「研究・開発・学びのデザイン」
加藤泰久 先生（東京通信大学）

◇第2部：魅力 Aware / Share / Deeper セッション

- ・インタラクティブロボット講義における学習者の注意・理解リカバリ
島崎俊介（電気通信大学）
- ・ロボットを用いた英文読み合いにおける相補的教え合い支援
佐藤孝史（電気通信大学）
- ・非言語情報を用いた Peer コンパニオンロボットとのインタラクションによる学習者の内発的動機付けの促進
本多昂生（早稲田大学）
- ・弱いロボットが誘因する学習援助による内発的動機づけの促進
白石誠（早稲田大学）
- ・数学におけるベクトルを対象とした学習者に半主体的な学習を促進する支援システムの提案
十文字智人（東京工芸大学）
- ・誤りへの気づきを促すシステムのフィードバックの検討
中村祐希人（東京工芸大学）
- ・日本在住外国人の日本国内における日本語修得に関する一考察
カクギョウウ（高崎商科大学）
- ・Web 調べ学習におけるコンテキストアウェアな問題を用いたリフレクション支援
加藤慎融（電気通信大学）
- ・生体情報を用いた e-learning における学習者の感情隠蔽状態推定に基づくフィードバック生成
篠原洗一（早稲田大学）
- ・ソースコードの振舞いモデルと機能の理解を指向した支援システムの開発
松爲泰生（東京工芸大学）
- ・プログラミング問題の定式化による解法の理解を促す学習支援システム
白髭虹輝（東京工芸大学）
- ・力学における学習者の誤りに基づく補助問題提示システムの授業実践の結果の分析
相川野々香（東京工芸大学）
- ・物理を題材とした Teachable Agent Modeling for Error-visualization における物体の制約条件
荻田将徳（東京工芸大学）
- ・理科の対話型復習教材の開発と評価
大庭マリア鈴音（東京工業大学）

関西支部より活動報告

担当者： 教育システム情報学会 関西支部

2022年11月19日(土)に、8団体の共催で第18回情報教育合同研究会を開催しました。74名のご参加をいただきありがとうございます。当日は、感染防止対策を入念に整えた上で、対面にて開催しました。

テーマ： 情報Ⅰの理想と現実 ～学校の現状を直接対話しよう～

「情報教育に関する手引き」の発刊から30余年、学校教育における情報教育が小学校から中学校、高等学校、大学入学共通テストへと繋がる一本の道筋が確立されました。2025年からの大学入学共通テスト「情報Ⅰ」に向けて、今年度から高等学校「情報Ⅰ」が情報教育の仕上げの段階として実施されています。今後は、これらを実りあるものにするために、さまざまな課題を乗り越えて行かなければなりません。

【分科会】【研究発表】同時開催 13:00-14:10

【研究発表（情報教育一般）】 座長：阿部 一晴（京都光華女子大学）

「大学初年次におけるタイピングスキル向上に関する方略」 倉掛 崇（広島女学院大学）

「反転授業を伴う情報教育の一考察 ―学生の授業参画度の観点から―」 中嶋 克成（周南公立大学）

【分科会】（3会場にて複数セッション同時開催）

「学校の現状を直接対話しよう」

①「GIGAでつながる小中高の情報教育」 座長：米田 浩（尼崎市立教育総合センター）、話題提供者：細見 隆昭（丹波市立黒井小学校）、雨宮 久仁（尼崎市立教育総合センター）、谷田 浩平（京都府立朱雀高等学校）

②「情報Ⅰにおけるプログラミング教育の実際」 座長：中西 通雄（追手門学院大学）、話題提供者：望月 翔平（兵庫県立兵庫高等学校）、佐竹 靖史・牛尾 太郎（兵庫県立柏原高等学校）

③「大学入学共通テストに向けた高校現場の動き」 座長：米谷 繁（兵庫県高等学校教育研究会情報部会長）、話題提供者：鹿野 利春（京都精華大学）、三木 康史（兵庫県立尼崎稲園高等学校）

【全体会】14:30-16:40

○講演「共通教科情報科の着実な実施、よりよい実施に向けて」（50分）

国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官（併）文部科学省 初等中等教育局 修学支援・教材課/教育課程課情報教育振興室 教科調査官 文部科学省 初等中等教育局 参事官（高等学校担当）付産業教育振興室 教科調査官 田崎 丈晴 先生

○パネルディスカッション「情報Ⅰの理想と現実」（60分）

コーディネーター

佐藤 万寿美（同志社女子大学）

パネリスト

米田 浩（尼崎市立教育総合センター）

中西 通雄（追手門学院大学）

米谷 繁（兵庫県高等学校教育研究会情報部会長）

広報からのお知らせ



Web サイトがリニューアルされました

2023年1月23日に、JSiSEのWebサイトがリニューアルされました。従来よりも見やすく、操作も分かりやすくなっています。新しくなったWebサイトをぜひご覧ください。

また、何かお気づきの点があれば、遠慮なく学会事務局までお問い合わせください。



Twitter アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式Twitterアカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2023年1月23日現在、フォロワー数 262 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式Facebookページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2023年1月23日現在、いいね 528 件、578 人フォロー

Twitter, Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局（secretariat@jsise.org）までお問い合わせください。



国際会議のご案内

- 2023年3月開催

SITE 2023: 34th annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催期間 : March 13-17, 2023

開催地 : New Orleans

URL: <https://site.aace.org/conf/>

- 2023年7月開催

EdMedia + Innovate Learning Summit

開催期間 : July 10-14, 2023

開催地 : Vienna, Austria

URL: <https://www.aace.org/conf/edmedia/>



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしく願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。(2022年11月25日～2023年1月20日)

本学会での益々のご活躍を期待しております!

会員名	会員種別	会員名	会員種別
阿部 飛翔瑠	学生会員	高津 遥	学生会員
中原 大介	正会員	向田 識弘	正会員
篠田 有史	正会員	貴志 浩久	正会員

(計6名)